



2018年12月4日

各 位

会 社 名 三菱瓦斯化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉井 敏磨
(コード番号: 4182 東証第一部)
問合せ先 広報 IR 部長 西川 伸起
(Tel : 03-3283-5041)

持分法適用会社（日本・サウジアラビアメタノール株式会社）の合弁事業について

当社の持分法適用関連会社である日本・サウジアラビアメタノール株式会社（以下、JSMC）とサウジ基礎産業公社（Saudi Basic Industries Corp.（以下、SABIC））は、本年11月29日を合弁契約期限とする Saudi Methanol Company（以下、AR-RAZI）について、JSMCが所有するAR-RAZI株式の50%（AR-RAZI総株式の25%相当）を150百万米ドルにてSABICに売却（以下、「本株式売却」）し、出資比率を25：75にするとともに、2019年3月末までに合弁事業の継続に関し最終的な意思決定を行うことで合意しましたので、お知らせします。なお、メタノールの取扱数量は従前と同様に確保します。

JSMCとSABICは、1980年のAR-RAZI設立以来、友好的に相互協力しつつAR-RAZIの事業を発展・継続してまいりました。JSMCはSABICとの今後のAR-RAZIに関する協議の結果、以下の条件を含めて合弁事業を20年間継続する形の新たな枠組み案について一定の合意に至りました。

- ① JSMCからSABICへの合弁事業延長対価（1,350百万米ドル）の支払い
- ② 省エネ効果を高めるメタノール新技術の商業化の共同検討、および新技術によるメタノール設備更新の検討

JSMCは2019年3月末までに、JSMC株主による検討を含め、当該枠組みについて経済合理性等を総合的に判断し、合弁事業を継続するのか、残り25%についても150百万米ドルにて売却して合弁事業を解消するのかを最終判断いたします。当社は、最終判断がなされ次第、その結果を速やかに開示する予定です。

なお、本株式売却に伴い、当社の連結業績への影響として、株式売却による損失が50億円程度発生*する見込みです。また、JSMCのAR-RAZIへの出資比率減少に伴い、持分法による投資損益が減少することが見込まれます。ただし、本株式売却は、各国の公正競争当局の承認後に手続きが完了する予定であるため、業績に影響を与える時期については現時点で未定です。

* 持分法による投資損益において計上。過去との為替レート差による為替換算調整勘定の取崩による株式売却損ならびにJSMCに発生する売却益の税金による。

以上

(参考)

1. 日本・サウジアラビアメタノール株式会社 (JSMC) 概要

(1) 名称	日本・サウジアラビアメタノール株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 石和田 彰
(4) 事業内容	(イ) サウジアラビア王国においてメタノールを製造・販売する会社への投融資および経営の指導 (ロ) (イ) の会社が生産するメタノールの輸入・卸販売
(5) 資本金	2,310 百万円
(6) 設立年月日	1979年11月12日
(7) 決算期	12月
(8) 純資産	約 707 億円 (2018年11月30日時点想定)
(9) 総資産	約 764 億円 (2018年11月30日時点想定)
(10) 株主	当社 : 47%、国際協力機構、他 6 社

2. Saudi Methanol Company (AR-RAZI) 概要

(1) 名称	SAUDI METHANOL COMPANY
(2) 所在地	Al-Jubail Industrial City, Kingdom of Saudi Arabia
(3) 代表者の役職・氏名	Ahmed T. Al-Shaikh, Chairman
(4) 事業内容	メタノールの製造および販売
(5) 資本金	259 百万サウジ・リアル
(6) 設立年月日	1980年2月9日
(7) 決算期	12月
(8) 純資産	約 2,250 百万サウジ・リアル (約 600 百万米ドル) (2018年11月30日時点想定)
(9) 総資産	約 3,720 百万サウジ・リアル (2018年11月30日時点想定)
(10) 株主	JSMC : 50%、SABIC : 50%

1 サウジ・リアル=約 30.3 円 (2018年11月30日現在)